

## 国連フードシステムサミット:酪農乳業のゲームチェンジング・ソリューション 国際酪農連盟ブログから

国際酪農連盟 (IDF) 前会長のジュディス・ブライアンス氏 (デーリーUK) は、現在 IDF フードシステムサミット特別作業部会の委員長を務めている。ブライアンス氏は IDF 公式ページのブログ(\*1)で、国連フードシステムサミットに向けた IDF の活動として、IDF と FAO (国連食糧農業機関) が 2016 年に署名したデーリーロッテルダム宣言は世界の酪農乳業セクターのゲームチェンジング・ソリューション (状況を変える解決策) になりうるという考えを示すとともに、学校給食プログラムでの牛乳提供などこれまでの世界での取り組み、他の国際関連組織の活動、業界の国際協力で進展中の活動などについても伝えた。このブログの内容を紹介する。

### はじめに

国連のアントニオ・グテレス事務総長が今年 9 月に召集する国連フードシステムサミットは、将来の食料の生産と消費に関する取り決めを行う時期を明確に示している。しかし、世界は 2030 年の目標期日までの「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成にはどこへも近づけていないため、サミット事務局は SDGs の実現へのペースを上げるためにゲームチェンジング・ソリューション (状況を変える解決策) の呼びかけを發した(\*2)。

### 進行中の活動

サミットの準備活動は、このしばらくの間に進んできた。その活動の大部分は、「アクション・トラック」(\*2)の下で行われている。各アクション・トラックは、委員長と副委員長、国連機関、および独立した科学グループのメンバーによって支援されている。

その中で配置されたアクション・トラックと活動の一連の流れは次のとおり。

#### アクション・トラック1: すべての人々に安全で栄養価の高い食料へのアクセスを確保

ワークストリーム: (1) 飢餓ゼロ、(2) 栄養価の高い食料へのアクセス、(3) 安全な食品

#### アクション・トラック2: 持続可能な消費パターンへの移行

ワークストリーム: (1) 食料廃棄物、(2) 食料需要、(3) 食料環境

#### アクション・トラック3: 自然に対してポジティブな生産を後押し

ワークストリーム: (1) 保護、(2) 管理、(3) 回復

#### アクション・トラック4: 公平な生計と所得配分を促進

ワークストリーム: (1) 強化を行う機関、(2) 包摂的な政策、(3) 多次元の福祉とアクセス

#### アクション・トラック5: 脆弱性、ショックおよびストレスに対する強靭性を構築

ワークストリーム: (1) 経済的な強靭性-公平で包摂的であること、(2) 社会的強靭性-すべての人々のための広範囲に基づく利益を創造、(3) 環境の強靭性-自然環境に対してポジティブで再生的な影響を生む

2021 年 1 月には、それぞれのアクション・トラックが取り上げる問題に対処するためのゲームチェンジング・ソリューションのアイデアを生み出す手段として、各アクション・トラックに対して公開アンケート調査が開始された。各アクション・トラックのリーダーシップチームは、アイデアや解決策を共有するとともに、ゲーム

チェンジャーの一覧表を作るための会議を開催している。

## 私たちのゲームチェンジングの可能性への気づき

世界の酪農乳業セクターは、このサミットの準備段階を通して、健康的で持続可能な食事に対し酪農乳業がどのように貢献するかについての情報を共有しており、今後もそのようにしていく。さらに、IDF 国内委員会やその他の組織の多くは、乳製品と植物性食品を含む食事の価値が認識されるように、国および地域レベルで取り組んできている。

2016年に署名されたIDF-FAO デーリーロッテルダム宣言(\*3, 4)は、酪農乳業がSDGsに対しすでにながりの貢献をしていることを認識しつつ、今後の世界の酪農乳業セクターの継続的な持続可能な改善を公約している。したがって、これは、ゲームチェンジング・ソリューションとして説明することができるだろう。このデーリーロッテルダム宣言は、酪農乳業システムの持続可能性への統合されたアプローチを取る能力を発揮するという点でユニークであり、SDG 1、2、3、および4を実現する役割を果たす上で特に重要である。

しかし、私たちはもっと多くのことを行うために努力できる。IDFなどの世界の酪農乳業セクターは、女性と若者のための機会を創出しながら、経済、食事、環境に対する畜産の価値を最大化するゲームチェンジングな推奨を促進するよう、サミット事務局に求めている。持続可能なフードシステムに関する議論において、畜産、特に酪農乳業の役割が忘れ去られたり、過小評価されたりしないことが重要である。

サミットの議論で酪農乳業のために特に強調されるべきことは、酪農乳業セクターが次の

可能性を秘めていることである。

- ・メタンの排出量を削減-科学に基づく家畜飼料オプションに焦点を当てる(アクション・トラック2と3)。

- ・環境への影響を軽減-家畜の飼養、給餌、繁殖を利用した家畜一頭当たりの生産性の向上による(アクション・トラック3)

- ・酪農生産を通じて提供される生態系サービスの評価-人間にとって非可食の牧草、穀物、植物廃棄物を栄養密度の高い食品に変換し、メタンバイオ消化と肥料によるエネルギー生産、堆肥、土壌管理、および生物多様性を支援(アクション・トラック3)

フードシステムの将来に目を向けるとき、酪農乳業がアクション・トラック1、2、及び4の付託に該当する問題に対処する上で、果たすべき大きな役割を持っていることは間違いない。以下に一例として、学校給食プログラムをみてみたい。

学校給食における牛乳供給のプログラムは、何十年もの間、世界中で大きく成功しながら運営されており、特に学校給食プログラムに依存している最も脆弱な子ども達の栄養状態を改善するのに役立っている。学校給食プログラムは、栄養状態の改善に加えて、教育の可能性と人間の生産性の向上、飢餓の削減から男女格差の解消に至るまでの幅広い問題に取り組むのに役立つ。実際、学校給食プログラムは、学齢期の子ども達の成長と発達を支援する上でポジティブな影響を与えた結果として、サミットの中で議論をさらに拡大すべき重要なゲームチェンジング・ソリューションとして、いくつかのステークホルダーに支持されている。これらのプログラムに牛乳とその他の乳製品を継続的に含めることは、酪農乳業セクターだけでなく、私たちが提供する食料から恩恵を受ける子ども達にとっても重要である。

私たちは、酪農乳業が学校給食のゲームチェンジャーの一部であるという強いエビデンスに基づき事例を作っている。

酪農乳業のために他の多くのゲームチェンジング・ソリューションがあり、その多くはすでに探求されており、バリューチェーンのスタートである酪農家から、価値を付加する乳業者や安全で栄養価の高い持続可能で価格が手頃な食品を必要としている消費者まで、その多くはすでに人々の中心にある。

サミットに備えて行われている農業の側からの議論の多くは、農家が気候変動に適応し、生物多様性の損失に対処する上で、より強靭性のある事業を行うことを支援する必要性に焦点が当てられている。農家は農村生活の基盤であり、食料を生産するだけでなく、地域社会に雇用を提供し、土地の世話をしている。

当然のことながら、小規模農家に関する多くの議論があるが、酪農セクターとしては、小規模農家だけではなくあらゆる規模の農場を含む家族経営農場について話をし、動かそうと取り組んできた。

国連による検討のために提出されたもう一つのゲームチェンジング・ソリューションは、デーリー・ナリッシュズ・アフリカ (DNA, Dairy Nourishes Africa) イニシアチブ (\*5) である。グローバル・デーリー・プラットフォーム (GDP) によって設立された DNA は、世界の酪農乳業セクターと地元のステークホルダーの集団による強みを活かし、フードシステムをより強靭で、包摂的、環境的に持続可能なものにするための 15~20 年にわたる官民パートナーシップである。乳業者を変革の要として、DNA は市場システムアプローチを用いて、フードシステムをより強靭性があり、包摂的で、環境的に持続可能になるようにする。この活動は、いくつかの SDGs の達成に貢献することを目的としてお

り、SDG の目標 2: 飢餓ゼロに対処する上で特に役に立つ。DNA のパイロットプロジェクトはタンザニアで行われており、GDP、ランド・オレイクス・ベンチャー 37、バイン &カンパニーが協力している。

酪農セクターのゲームチェンジャーになる力を持つひとつの新しい確かな活動計画も進展中である。この活動計画は「ネットゼロ、低炭素酪農への道筋 (Net Zero, Pathways to Low-Carbon Dairy)」という名称で、環境にやさしいガス排出量をポジティブに前進させるための世界的な協力によるセクター全体の取り組みである。

環境への影響を制限し、地球を保護するためには、ひとつのサイズですべてに合う食事や単一の方法はない。複数の選択肢と行動が存在している。フードシステムサミットを通じて、私たちの酪農乳業セクターは、食料安全保障に対する意味のある貢献に対して理解を深める貴重な機会を得るだろう。誰もがより良いフードシステムを望んでいるので、一緒にそれを構築していこう。

## おわりに

国連フードシステムサミットの開催に向けて、世界各国では関係者によるさまざまなレベルでの対話や意見交換が推奨されている。国内では農林水産省が生産者、関係団体、事業者等の幅広い関係者と意見交換会を実施するとともに、5 月までに「みどりの食料システム戦略」を策定中である (\*6)。畜産分野では「持続的な畜産物生産の在り方検討会」が開催されている。我が国にも国際ルール作りに参画するとともにフードシステムサミットの議論への貢献ならびに持続性の取り組みモデルの発信が求められている。

なお、本報告にある IDF や GDP などの国

際酪農組織及び政府の動きに対応しながら、わが国の酪農乳業においても、J ミルクの「戦略ビジョン推進特別委員会」及び「SDGs 推進ワーキングチーム」を軸に、酪農生産者団体、乳業者、研究者、農水省などのステークホルダー間で、持続可能なフードシステムへの貢献の仕方について、「会話」が開始されており、今後の展開が注目される。

#### 参考資料:

- 1) <https://www.fil-idf.org/un-food-systems-summit-game-changing-solutions-for-dairy/> UN Food Systems Summit: Game changing solutions for dairy. International Dairy Federation.
- 2) <https://www.un.org/en/food-systems-summit/action-tracks> Action Tracks. Food Systems Summit 2021. United Nations.
- 3) <https://www.fil-idf.org/the-dairy-declaration/> Dairy Declaration of Rotterdam. International Dairy Federation and Food and Agriculture Organization of United Nations.
- 4) <https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb400000044n9.html> 2020 年の国際酪農連盟活動における優先課題. J ミルク国際 Dairy レポート. 第 1 号. 第 16～17 頁. 2020 年.
- 5) <https://globaldairyplatform.com/dna/> Dairy Nourishes Africa. Global Dairy Platform.
- 6) <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/team1.html> みどりの食料システム戦略～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～. 農林水産省

(資料閲覧:2021年3月9日)

(Jミルク 国際グループ 新 光一郎)